



各位

会社名 株式会社シーエーシー  
代表者名 代表取締役社長 島田 俊夫  
(証券コード 4725 東証第1部)  
問合せ先 取締役兼執行役員 酒 匂 明彦  
責任者 経営統括本部長  
(電話 03-6667-8000)

## 平成18年12月期 通期業績予想の修正のお知らせ

平成18年2月14日に発表した平成18年12月期の通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

### 記

#### 1. 平成18年12月期 通期(平成18年1月1日～平成18年12月31日)業績予想の修正

【連結】

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	40,000 ( 23.7%)	2,750 ( 26.6%)	1,300 ( 69.8%)
今回修正予想 (B)	37,500 ( 28.5%)	2,150 ( 42.6%)	1,200 ( 72.2%)
増減額 (B - A)	2,500	600	100
増減率	6.3%	21.8%	7.7%
(ご参考) 前期実績	52,423 (3.4%)	3,746 (56.3%)	4,309 (449.3%)

( )内のパーセント表示は対前期比増減率です。

【単体】

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	32,500 (5.8%)	2,500 (5.2%)	1,200 ( 75.2%)
今回修正予想 (B)	29,500 ( 3.9%)	2,000 ( 15.8%)	1,250 ( 74.2%)
増減額 (B - A)	3,000	500	50
増減率	9.2%	20.0%	4.2%
(ご参考) 前期実績	30,712 (2.3%)	2,375 (92.4%)	4,837 (753.0%)

( )内のパーセント表示は対前期比増減率です。

## 2. 修正の理由

### (1) 単体ベース

当社では、前年度第4四半期に金融分野で大型の不採算案件が発生いたしました。当案件については去る9月に納品し、お客様の正式な品質検査合格を得て当初の契約範囲の作業は完了、現在は別契約の総合テストフェーズへと移行しています。

しかしながら、当第3四半期末まで当案件の対応に多くの人材を投入した影響によって生産力不足が生じたために、当社の主力分野のひとつである金融向けにおいて、当第3四半期まで前年同期比での売上高減少が継続いたしました。第4四半期に入り、金融業界からの旺盛な需要に対応すべく取り組んでいるものの、現時点では、売上高が期初見通しを下回る見込みとなっております。これに加え、システム運用管理サービスの利益率が低水準に推移していることから、売上高および経常利益は期初見通しを下回る見込みとなりました。

一方、第3四半期に続き、第4四半期においても、投資有価証券の売却益が発生する見込みとなっております。

以上により、期初見通しと比べ、売上高、経常利益を下方に、当期純利益を上方に修正いたします。

### (2) 連結ベース

単体の修正理由に加え、連結子会社である株式会社カティアントが、先行的な投資によって経常赤字となったため、売上高、経常利益、当期純利益をそれぞれ下方に修正いたします。

以上

### 〔見通しに関する注意事項〕

本資料における業績の見通しは、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定、および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等さまざまな要因によって、実際の業績は見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

お問い合わせ先：株式会社 シーエーシー  
広報 IR グループ  
東京都中央区日本橋箱崎町 24-1  
TEL：03-6667-8010